

I <報告>

(1) ジェンダー一部会

・森崎和江『からゆきさん』を読む 学習会 6

「慟哭の土」の中の「大連悲歌」「荒野の風」から、「おくにことば」の中の「おヨシと日の丸」「天草灘」までを一気に読みました。からゆきさんの一人、「おヨシ」は、上海の娼楼に売られます。5年後そこを逃げ出したおヨシはまずシンガポールで、後にインドで「ジャパニーズ・マッサージ医院」を開業し、「日の丸を胸におさめた民間外交」だと矜持をもって働きます。そのおヨシが日本に帰った後なぜ「完璧な死に方」をしたのか論議になりました。他にも1890年(明治3年)に制定された初めての刑法「新律綱領」では、妻妾はともに2親等とされ、国が一夫多妻を認めていた等知らなかった歴史を学び、考えさせられました。遊女が宿した子は「鬼」と呼ばれたということから、「鬼滅の刃・遊郭編」の話も出ました。

・森崎和江『からゆきさん』を読む 学習会 7

森崎和江の弟が死ぬ前に「女はいいね。子を産めるから」と言ったのはどういう意味? という疑問に、いろいろな考えが出されました。講師の言葉「男も産む」—命は両性で産む—は、ともすれば意識からすべりおちている大事な視点だと思いました。他にも、マッチョな思想にじゃまされず男女が対等に向き合い、なおかつ性愛を育てていくにはどうすればいいのか、森崎和江の「エロス」という考えにヒントがあるように思うが…という意見、「パンで学ぶ包括的性教育」や「性的同意」の授業等の話も出ました。森崎和江『からゆきさん』の意義として、書き言葉を持たない人たちのところまで自力でおりにって表現をしばり出したこと、人間にとって性とは? を掘り下げていったこと、というお話もありました。HPを見て和歌山から参加された方(ちょうどこちらにも用事あり)もおられ、様々な参加者で充実した会でした。

(2) 教育部会

テーマについて、資料等や学校の現状を出し、協議した。1現状 (1)新聞資料によるマスク着脱記述(添付)、(2)濱本さんより~授業中のマスク着用は8割ぐらい。濱本さんは、①自分(濱本さん)の判断を子どもたちに明確にする。1)授業では飛沫感染の可能性があるのでマスクを着用していること、2)職員室や普段の生活ではマスクはしていないこと、3)適材適所で判断するようにしていること、②マスクを着用するかは子どもたちが自分で判断するようにしている、③そのための判断材料は話すようにしている、という学校の現状を報告した。3協議 ①新型コロナウイルス感染症(その他のロシア・ウクライナ戦争、SDGsなど)については情報が氾濫し子どもたちの判断にマイナスな面がある。ex~NHK ニュース9ウオッチ「『ワクチン接種後副作用でなくなった人』の報道を『コロナウイルスでなくなった』と報道したこととその後の対応の問題、②「教え込む」から、「資料を探し自分なりの考えをもち、出し合える」教育への転換が必要である。③旧来の教え込み型の込み型の教育を受けてきた、私たちが、「それ、本当?」と問い返し自分なりの考えをもつことがたいせつである、④コロナ禍をとおしてオルタナティブで多様な発想が自由に語り合える社会・学校へと変革していかねばならない、などの意見が出された。次回のテーマでも論議していく。(峰)

(3) 2023年度「史実と授業・啓発の結合をめざして」

7月1日(土)直方市中央公民館にて、上記研究会が開催されました。今回のテーマは、「解放令」以降、水平社創立までの授業提案と題して3名の方に提案していただきました。

(1) 開講行事では、新谷恭明本研究所理事長が、「史実と授業・啓発の結合をめざして」の過去の流れの説明・本研究会の意義などをあいさつしていただきました。

(2) 内容は、迫本幸二研究員より、「解放令から水平社創立までの授業をつくる」を問題提起しました。

(3) 報告1として、片石智哉直方市上頓野小学校教諭が「自分にできることをする～部落問題学習の実践と子どもとのかかわりで学んだこと～」を報告しました。

(4) 報告2として、関儀久理事が「感染症と部落問題～近代都市のコレラ体験～」を報告しました。

(5) 意見交流・質疑応答があり、

(6) 閉講行事で締めくくりました。

* アンケートでは、

① 問題提起に関して、「解放令」「全国水平社」は教科書で学ぶが、具体的な深い内容までは学習する機会が殆んどないため、「人権学習」につないでいくためにも、今回の内容は有効だと感じた。

② 報告1に関して、教科書記述の行間を埋めていく授業という点で、提案される授業づくりをぜひ、伺いたいです。

③ 報告2に関して、考えたことのない視点からお話を聞かせていただき、とても興味をもち、「なるほど」と思いながら聞きました。

(4) 史資料プロジェクト

2023年度第3回は、「有馬頼寧と同愛会」という標題で会員の竹森健二郎さんより、提案していただきました。はじめにの中で、有馬頼寧とはどんな人物かという質問を受けていたので、今回提案をすることにしました。次のような流れで説明されました。1. 有馬頼寧の人物像 2. 社会事業への参画 3. 同愛会会長の就任と活動 4. 機関紙『同愛』 5. 中央融和事業協会による全国融和連盟の吸収 6. 戦時下の融和運動の展開 ・おわりにとして、有馬や同愛会は、今までの融和事業が「被差別部落の人たちに、差別されるようなことをするな」から「加差別側の人たちに対して、単なる同情や施しなどはよくないこと」と問うたこと、国策確立として、国家予算を計上していく取り組みをしたことなどを話されました。・質問・意見が出され、充実した内容で閉会することができました。

Ⅱ <お知らせ>

(1) 『解放の父 松本治一郎への手紙—全国水平社を支えた人々との交流』出版記念講演会(田原春次没50年記念集会)

日時：7月16日(日)14:00~16:00

内容：講演「田原春次と松本治一郎」

講師：関儀久さん(福岡県人権研究所 理事)

講演「田原春次と豊前地方の水平運動・農民運動」

講師：小正路淑泰さん(福岡県人権研究所 副理事長)

会場：行橋市中央公民館
(行橋市大橋 1-9-26)

(2) 第 70 回北九州人権フォーラム 21 市民講座

公益社団法人福岡県人権研究所 2023 年度「人権啓発担当者をつどい」

日時：7 月 19 日(水) 18:30~21:00 (受付 18:00~)

内容：講演「公正公平な採用選考確立の取り組みと人権文化の創造」

講師：小西清則さん(元、福岡県人権・同和教育協議会 会長)

会場：北九州市立小倉南生涯学習センター・4F 大ホール
(北九州市小倉南若園 5-1-5)

問合せ：090-2587-7822 北九州人権フォーラム 21 中島弘陽

(3) 部落問題部会 第 1 回研修会

日時：7 月 22 日(土) 13:30~ (受付 13:00~)

内容：「井元麟之・人とその思想」

講師：そのだひさこさん

「小説『破戒』と井元麟之」

講師：柚木章一さん(嘉麻市立嘉穂中学校)

山崎正司さん(嘉麻市立稲築西義務教育学校)

参加費・資料代：500 円

会場：福岡市教職員組合東部事務所
(福岡市東区馬出 4-2-17)

問合せ：福岡県人権研究所 092-645-0388

(4) 第 40 回九州地区部落解放史研究集会

日時：7 月 27 日(木) 13:30~16:30 (受付 13:00~)

内容：記念講演「水平社と同愛会——有馬頼寧の社会運動」

講師：黒川みどりさん(静岡大学)

日時：7 月 28 日(金) 9:10~12:00 (受付 9:00~)

内容：九州各地域における水平社の活動

報告：関儀久さん(福岡県)、矢野治世美さん(熊本県)、中村久子さん(佐賀県)

参加資料代：1500 円

会場：アバンセホール(佐賀県立男女共同参画センター／佐賀県立生涯学習センター)
(佐賀市天神 3-2-11)

問合せ：佐賀部落解放研究所 0955-74-4639

(5) 水のアジア

日時：7 月 1 日(土)~9 月 3 日(日) 9:30~18:00

観覧料：一般 1000 円

会場：福岡アジア美術館 7F アジアギャラリー

(福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル 7・8F)

山内光枝アーティストトーク

「寄せては返すシグナルはノイズの海を漂い還る」

日時：7月17日(月) 14:00～16:00

場所：あじびホール(8F)

※予約不要・入場無料

福岡アジア美術館：

<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/event/18036/>

(6) 第16回筑前竹槍一揆ウォーク in 木屋瀬

日時：10月1日(日)10:00～15:30 (受付9:30～)

内容：講話「筑前竹槍一揆と木屋瀬」

講師：石瀧豊美さん

散策：木屋瀬みちの郷土史料館、木屋瀬宿

参加費：一般1500円 研究所会員1000円

会場：長崎街道木屋瀬宿記念館こやのせ座

(北九州市八幡西区木屋瀬3-16-26)

※8月31日(水)までにFAX(092-645-0387)またはメール(info@f-jinken.com)で要申込み
(定員30名程度)

問合せ：塚本博和 090-4999-0873

(7) 2023年度「啓発担当者のための人権講座」

日時：12月1日(金)13:00～16:30 (受付12:30～)

内容：演題(未定)

講師：横田耕一さん

(九州大学名誉教授、ブックレット菜の花11『人権とは何か』著者)

会場：福岡市立中央市民センターホール

(福岡市中央区赤坂2-5-8)

・ イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

・ 部落史部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

・ 教育部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

・ ジェンダー部会

9月3日(日)「森崎和江『匪俗の笛』を読む 学習会①」(講師：うりう ひさこ さん)

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

・ 外国人部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

・啓発部会

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

・海外人権スタディツアー企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

・部落問題部会

7月22日(土)「井元麟之・その人と思 第1回 井元麟之と破戒」

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

・特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—』（川口泰司著）

新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinkenken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

info@f-jinken.com （登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】